



# 令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化プログラム推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	4	款	1	項	3
事業名称	横浜トリエンナーレ事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	125,000					125,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	65,000					65,000
増△減	60,000	0	0	0	0	60,000

歳出 予算 決算	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	66,000			130,000			404,000			405,000			66,000			130,000	
市債+一般財源	66,000			130,000			404,000			405,000			66,000			130,000		
事業費	65,233			154,572			403,659											
市債+一般財源	65,233			154,572			403,659											

事業概要	我が国を代表する現代アートの国際展横浜トリエンナーレの開催								
事業開始年度	平成11年度								
根拠法令・方針決裁等	国際美術展（横浜トリエンナーレ）の開催及び組織委員会の設立について（平成11年7月9日）、中期計画<戦略「1」38の政策「5」>								
事業目的・効果 (必要性)	<p>横浜トリエンナーレは、我が国を代表する現代アートの国際展として、文化芸術創造都市・横浜の発展をリードするとともに、多様性を受け入れる心豊かな社会の形成に寄与することを使命として、3年ごとに開催しています。</p> <p>また、「アートでひらく」、「世界とつながる」、「まちにひろがる」の3つを目標とし、誰もが多様な表現に触れる機会を提供すること、ナショナルプロジェクトとして横浜から世界に向けた新しい価値観と文化を定期的に発信すること、文化芸術創造都市・横浜ならではの「まちの力」と一体になった取組みを進めることを目指しています。</p> <p>令和4年度は、「ヨコハマトリエンナーレ2023（仮称）」（令和5年度開催予定）の準備年となるため、横浜トリエンナーレを主催する「横浜トリエンナーレ組織委員会」に対して協定に基づく負担金を拠出するなど、開催準備を着実に進めます。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜トリエンナーレ総来場者数 2011：約33万人、2014：約21万人、2017：約26万人、2020：約15万人（※）</li> <li>・チケット販売枚数 2011：約17万枚、2014：約10万枚、2017：約10万枚、2020：約6万枚（※）</li> <li>・経済波及効果 2014：23億2600万円、2017：35億3900万円、2020：23億1,400万円（※）</li> <li>・パブリシティ効果 2014：52億300万円、2017：50億4000万円、2020：50億9,500万円（※）</li> </ul> <p>（※）新型コロナウイルス感染防止のため入場制限を実施</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
横浜トリエンナーレの開催	単位	目標	ヨコハマトリエンナーレ2020開催準備	ヨコハマトリエンナーレ2020開催	ヨコハマトリエンナーレ2023（仮称）開催準備	ヨコハマトリエンナーレ2023（仮称）開催準備	ヨコハマトリエンナーレ2023（仮称）開催	ヨコハマトリエンナーレ2026（仮称）開催準備	ヨコハマトリエンナーレ2026（仮称）開催準備
	実績	実績	開催準備	開催					
	単位	目標							
	実績	実績							
	単位	目標							
	実績	実績							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会テーマ・コンセプト発表（令和4年秋頃）</li> <li>・主な出展作家等発表（令和5年春頃）</li> <li>・全作家、展覧会詳細情報発表（平成5年夏頃）</li> <li>・作家調査・交渉、展示計画策定（通年）</li> <li>・会場調整、会場運営、作品輸送調整（通年）</li> <li>・各種PR・広報活動、地域連携調整（通年）</li> <li>・市民協働活動実施、次世代育成の推進（通年）</li> <li>・協賛・協力活動（通年）</li> </ul>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	組織委員会負担金及び事務費	125,000	65,000	60,000	開催準備費用の増による組織委員会事業費の増
②					0	
③					0	
④					0	
細事業合計			125,000	65,000	60,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	丸山 晶子	係長	小川 哲	係	木村 綾夏

# 令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局 文化プログラム推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	会計	4	款	1	項	3	目
事業名称	横浜芸術アクション事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	327,956	100,000		10,000		217,956
補助事業 単独事業	220,000	100,000		10,000		110,000
令和3年度	472,800	150,000		5,000		317,800
増△減	△ 144,844	△ 50,000	0	5,000	0	△ 99,844

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	454,320	391,200	155,000
市債+一般財源	284,320	221,200	105,000
決算 事業費	404,126	257,678	142,087
市債+一般財源	219,126	161,598	77,302

令和5年度	令和6年度	令和7年度
60,000	470,000	300,000
60,000	320,000	215,000

事業概要	「文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出」として、芸術フェスティバル（令和4年度は音楽フェスティバルである「横浜音祭り」）を開催し、横浜の魅力を国内外に発信します。 あわせて、次期ダンスフェスティバルの開催に向け、準備を進めます。								
事業開始年度	平成23年度								
根拠法令・方針決裁等	ヨコハマ・アート・フェスティバル事業実施に係る基本協定書（平成24年4月2日）								
事業目的・効果 （必要性）	<p>1 音楽部門 フェスティバルの4つの方向性である「横浜発」世界へ「オリジナルなコンテンツ」、「横浜の街」そのものが舞台、「クリエイティブ・チルドレン」、「クリエイティブ・インクルージョン」を柱として、国籍・人種・世代・性別・障害等を超えて市民誰もが芸術（音楽）に触れることができる企画を実施するとともに、横浜らしい特色ある芸術・文化を世界へ発信し、街の賑わいを創出します。また各区や多様な事業者との連携を更に推進するとともに、次世代育成・市民参加プログラム等の充実により市民の参加機会を創出し、市域全域においてフェスティバルとの関わりを強化します。 実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を十分にを行い、大きく影響を受けるアーティスト・団体の活動の場を創出することで、文化芸術創造都市横浜から新型コロナウイルス感染症からの回復を図ります。</p> <p>2 ダンス部門 次期ダンスフェスティバルの開催に向け、準備を進めます。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期4か年計画（成長戦略）事業の具体化 政策 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出 施策（事業） 横浜らしい特色のある文化芸術の国内外への発信</li> <li>・ダンスフェスティバル開催実績（開催年：総来場者数、経済波及効果） 平成24年：125万人、70.6億円 27年：371万人、53.6億円 30年：529万人、50.9億円 令和3年：-、-</li> <li>・音楽フェスティバル開催実績 平成25年：381万人、21.9億円 28年：623万人、35.3億円 令和元年度：296万人、43.3億円</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
来場者数（主催・共催）	単位	目標	-	20,000	1,100,000	750,000	-	1,100,000	750,000
	人	実績	728,786	27,986					
経済波及効果（主催・共催）	単位	目標	-	-	55.0	44.5	-	55.0	44.5
	億円	実績	43.3	-					
フェスティバル市民認知率	単位	目標	-	-	42.0	53.5	-	42.0	54.5
	%	実績	52.5	-					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 音楽フェスティバル開催、次期ダンスフェスティバル準備、次世代育成事業等実施</li> <li>・令和2年度 音楽及びダンスの文化プログラムの実施、次期ダンス・音楽フェスティバル準備、次世代育成事業等実施</li> <li>・令和3年度 ダンスフェスティバル開催、次期音楽フェスティバル準備、次世代育成事業等実施</li> <li>・令和4年度 音楽フェスティバル開催、次期ダンスフェスティバル準備、次世代育成事業等実施</li> <li>・令和5年度 次期ダンス・音楽フェスティバル準備、次世代育成事業等実施</li> </ul>								

(単位：千円)

細事業 （事業内訳）	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	音楽・ダンス事業（横浜アーツフェスティバル実行委員会）	238,331	424,830	▲ 186,499
②	音楽・ダンス事業（18区連携）	7,000	7,563	▲ 563	区配希望の減
③	音楽・ダンス事業（団体支援）	76,000	36,000	40,000	みなとみらいホール事業増加に伴う増
④	事務費	6,625	4,407	2,218	会計年度任用職員従事時間の増
⑤				0	
⑥				0	
	細事業合計	327,956	472,800	▲ 144,844	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	野村 大樹	大友 純一	山田 卓広

# 令和 4 年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化プログラム推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計 会計	4 款	1 項	3 目			
事業名称	日中韓都市間文化交流事業						

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,000	0				8,000
補助事業 単独事業						0
令和3年度	8,000	0				8,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	13,263	11,273	8,000	8,000	8,000	8,000
	市債+一般財源	13,263	11,273	8,000	8,000	8,000	8,000
決算	事業費	7,962	9,641	2,177			
	市債+一般財源	7,962	9,641	2,177			

事業概要	「東アジア文化都市 友好協力都市協定」に基づき、アーティストや芸術団等の相互派遣を通じて、中国泉州市と韓国光州広域市との交流を行い、日中韓3か国の相互理解と連帯感形成の促進を図るとともに、横浜の魅力を発信することで横浜のプレゼンス向上を図ります。							
事業開始年度	平成27年度							
根拠法令・方針決裁等	東アジア文化都市 友好協力都市協定（平成26年11月18日締結）							
事業目的・効果 (必要性)	<p>平成29年8月26日に京都市で「東アジア文化都市サミット」が開催され、「京都宣言」が採択されました。「東アジア文化都市サミット」では、継続的な交流を支えるネットワークを構築する重要性について認識を共有したほか、「京都宣言」において、文化を通じた幅広い交流の促進と連携の強化に取り組むなどの方針が示されたことから、引き続き国による東アジア文化都市の取組状況を踏まえ都市間文化交流を進めます。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延の終息度合いを見定めつつ、オンライン等を活用しながら、3都市間の関係を途切らせることのないよう、継続して交流を推進していきます。</p> <p>【効果】</p> <p>①泉州市・光州市交流事業 文化芸術を通じた交流の継続より友好関係の維持、相互理解の促進、横浜市でのプレゼンスの向上に繋がります。</p> <p>②その他都市交流事業 東アジア文化都市ネットワーク強化を強化することにより幅広い交流機会創出・促進に繋がります。</p> <p>③創造界隈拠点による交流事業 行政以外の機関が主導として実施する文化交流により、連帯感の形成に繋がります。</p>							
根拠・データ等								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
招へい者数	単位	目標	0	0	20	20	25	25
	人	実績	23.0					
派遣者数	単位	目標	0	0	20	20	25	25
	人	実績	21.0					
交流事業数	単位	目標	5	6	7	7	7	7
	件	実績	4					
事業スケジュール	<p>平成27年度 事業開始</p> <p>平成28年度 3都市間の継続した交流事業の開始</p> <p>平成29年度 東アジア文化都市サミットによる「京都宣言」採択 歴代東アジア文化都市とのネットワーク構築開始</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	泉州市・光州広域市交流事業	6,460	6,460	0
②	その他都市交流事業	540	540	0	
③	創造界隈拠点による交流事業	1,000	1,000	0	
④				0	
⑤				0	
	細事業合計	8,000	8,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大益 利之	菱沼 博道	高木 由紀

# 令和 4年度 事業計画書

事業局課	文化観光局	文化プログラム推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計 会計	4 款	1 項	3 目			
事業名称	文化プログラム推進事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,176	0				2,176
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	2,560	0				2,560
増△減	△ 384	0	0	0	0	△ 384

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	6,991	5,092	3,200	2,200	2,200	2,200
	市債+一般財源	6,991	5,092	3,200	2,200	2,200	2,200
決算	事業費	4,008	3,369	999			
	市債+一般財源	4,008	3,369	999			

事業概要	横浜ならではの文化プログラムの推進に向けて、文化プログラム推進課の円滑な事務運営を図ります。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果 (必要性)	諸事務費として、職員の出張旅費、消耗品購入、自動車借上などの費用を計上します。 横浜の魅力発信やプレゼンス向上につなげるため、音楽フェスティバル開催等の事業に伴う諸事務の効率的な運営を図ります。							
根拠・データ等								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	通年 文化プログラムの推進に係る事務運営							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	事務費	2,176	2,560	▲ 384	実施内容見直しによる減
②					0	
③					0	
④					0	
⑤					0	
細事業合計			2,176	2,560	▲ 384	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	大益 利之	菱沼 博道	高木 由紀